

広報

温か味、おとどけ。

2019

1

No.751

おいしいだ

大石田町



年頭のごあいさつ

P2~3

将来の夢★希望

P4~5

ニュース玉手箱

P10~12



■表紙写真

食改おせち料理配膳（12月28日）

食生活改善推進員が丹精込めて手作りしたおせち料理が一人暮らし高齢者に配られました。

謹賀新年 年頭の「ごあいさつ」



大石田町長

庄司喜與太

新年明けましておめでとうござい
ます。皆様におかれましては輝かし
い新年をお迎えのことと心からお慶
び申し上げます。



防災・減災の取り組みを進め 安心・安全なまちに

さて、昨年は全国で自然災害が相次いだ
年でありました。6月の大阪府北部地震、
9月の北海道胆振地方を中心とする地震、
西日本を中心に大きな被害が発生した平成
30年7月豪雨など、全国各地で多数の被害
と犠牲者が出ました。

8月には県内においても、2度にわたる
豪雨が庄内・最上地方を中心に大きな被害
をもたらし、大石田町においては町道や河
川に被害がありました。さらに、お盆に町
を襲った集中豪雨により最上川の水位が急
上昇し、町最大の行事「大石田まつり最上
川花火大会」も順延を余儀なくされました。
自然災害への対応力を高めるべく、5月に
下河原運動公園で「最上川総合水防演習」
が行われました。消防団員はじめ多くの町
民の皆さまからご協力いただき、最上川流
域市町村や警察・消防・自衛隊など2千人
規模の演習となりました。さらに、10月に
は豊田地区自主防災会など地区住民の協力

により、震度6強の地震を想定した町防災
訓練が豊田地区で行われました。
本年には、地域防
災の拠点施設である
「尾花沢市消防署大
石田分署」の改築を
予定しています。訓
練設備や備蓄倉庫の
機能を持つ施設とし、
災害発生時の備えを
万全にしていま
す。



最上川総合水防演習

新たな雪対策の取り組みである除雪有償
ボランティア制度には、多数の町民に参画
いただいております。昨年は5年ぶりの大
雪となり、町では1月25日に豪雪対策本部
を設置し、流雪溝の通水時間延長等の対応
をとりました。冬の快適な暮らしのため、
引き続き行政と住民の総力を結集して雪対
策に取り組んでまいります。

文化・交流・スポーツ活動の 推進について

町民交流センター「虹のプラザ」がオー
プンから1年を迎えました。この間、多目
的ホールは各種団体のコンサートや演劇公
演、企業の研修や研究発表などの文化・交
流拠点として、また図書館や子育て世代活
動支援センター、保健センターは町民各層
から学び・子育て・福祉の場として積極的
に活用されており
ます。虹のプラザ
が町民の皆さまに
とって、より魅力
的な施設となるよ
う努めてまいりま
す。



おおいしだふれあいコンサート

昨年7月に虹の
プラザで「奥の細
道サミットin大石
田」が開催されました。本年は松尾芭蕉の
「おくのほそ道」紀行から330年の節目
にあたります。サミット加盟団体と交流・
連携を図り、芭蕉はじめ多くの文人墨客が
愛した文化の町として広くPRしてまいり
ます。

大石田スポーツクラブが昨年3月に発足
し、健康の保持・増進のほか、仲間づくり
など世代を超えて様々なニーズに対応した
スポーツ活動に取り組んでおります。クラ
ブへの参加者拡大を図り、「町民1人1ス
ポーツ」の普及に努めてまいります。

交流人口拡大に向けた 取り組みについて

東北中央自動車道「大石田村山インター
チェンジ」が昨年4月に開通しました。一
日も早い全線開通に向けて引き続き要望を
続けるとともに、交通網の充実を交流人口
の拡大と地域経済の発展につなげるための
取り組みを進め
ます。

町では、まち
歩きを促そうと
町内各所に案内
看板「まちかど
案内マップ」の
設置を進めてい
ます。案内マッ
プでは、町内の
飲食店や観光名



大石田村山IC開通記念式典

所、催しを紹介しています。この取り組み
に加えて、米沢栄養大学と連携したウォー
キングマップ作りや東北芸術工科大学と連
携した観光ホームページの作成を進めてい
ます。これらの施策と、町商工会女性部が
制作したまち歩きマップの活用、観光ボラ
ンティアガイド虹の町案内人、地域おこし
協力隊が運営する「KONOKURA
(こえのくら)」での観光案内などにより、
大石田駅を起点に
した観光誘客を
図ってまいります。
大石田町創生に
向けて、私の政治
信条であります
「ここを通うあた
たかい町政」を基
本に、今年の干
支「亥」のごとく、
まっすぐに、まちづくりにまい進していく
決意でありますので、皆様のご協力とご鞭
撻をよろしくお願いいたします。
最後に、本年が皆さまにとりましてすば
らしい年となるようご祈念申し上げます。



まちかど案内マップ

将来の

夢☆希望

今年4月に中学校へと進む町内の小学6年生6人から、将来の夢や中学校での目標についての作文を寄せていただきました。
これからの将来を担う子どもたち。それぞれ大きな希望を胸に抱いています。夢を実現するため、一歩一歩大切に歩いていってください。

★ヘアメイクアーティストになりたい



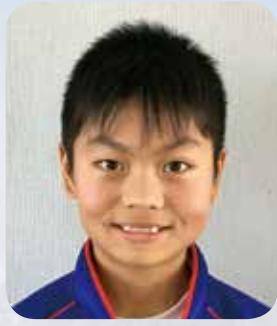
小林あぐりさん
大石田小学校

私の将来の夢は、ヘアメイクアーティストです。なりたいと思った理由は、映画でエキストラをやったとき、その時に来ていたヘアメイクアーティストの方から髪をアレンジしてもらい、とてもかわいくして

らえたからです。とてもうれしくてやる気が出ました。

それから私も友達のをアレンジしたことがあります。その時、友達からとても喜んでくれたので、私はとてもうれしくなりました。その経験から、私は人の髪をアレンジしてその人に心から喜んでもらえる人になりたいと思いました。アレンジをしてあげた人の笑顔が見たいので、私はヘアメイクアーティストを目指しています。

★プロ野球選手になりたい



森 卓樹さん
大石田小学校

ほとくの将来の夢は、プロ野球選手になることです。プロ野球選手になるには、中学校、高校とたくさんの練習の積み重ねが必要です。その中学校での目標をたくさん決めました。まずは一つ一つの基本の

練習です。適当にやってもダメなので、本などを見て確かめながら気を付けて練習します。二つ目は、真剣に取り組むことです。遊び半分でやってもうまくなりません。一つ一つを真剣に取り組んで練習をしたいです。このようなことを、毎日気を付けながら練習することが、ぼくは大切だと思います。一生懸命なことは必ず結果に結び付くと思うので、ぼくはプロ野球選手を目指して毎日練習を頑張っていこうと思います。

★日本中を旅してボランティアをしたい



村岡 里琉さん
大石田北小学校

私の将来の夢は、日本旅行をすることです。私は日本に住んでいるのに、まだまだ日本のことをあまり知らないなあと感じることがあります。日本のことをもっとよく知り、自分でできることはないかを考えていきたいです。

大石田町は、自然がいっぱいで、とてもいいところだと思います。大石田町だけでなく、他の市町村にもたくさん素敵なところがあると思います。私は、日本のいろいろなところを旅行して、どんな文化があるのか、どんな特産物があるのかを詳しく知りたいです。

私は、様々な災害の被災地にも行きたいです。そこでボランティア活動をしたしたいと思います。大変なこともあると思うけど、自分にできることは何かを考えて、行動したいと思います。将来も、やりたいことにどんどん挑戦したいと思います。

★みんなの心を動かす絵を描きたい



柏倉ひよりさん
大石田北小学校

私は将来、画家になりたいです。なぜなら、県美展に行った時、大人の方の絵を見て、とても驚いたからです。私も将来、たくさん人の絵を描いて、たくさんの人に絵を見てもらいたいです。そして、みんなに喜んでもらいたいです。

私は、みんなの心が動くような絵を描いてみたいです。例えば、鳥海山や月山、青森県の三内丸山遺跡、岩手県の中尊寺等の景色を写真のように描いてみたいです。私は、絵の具を使って色をつけることは、あまり得意ではないけれど、これから、上手に塗れる方法を見つけて、リアルに表現していきたいです。上手な絵をたくさん見て、上手な塗り方をまねして、丁寧に描いてみたいです。さらには、今の自分の感情を表現する絵、想像画なども書いてみたいと思います。

★みんなに喜ばれるマンガを描きたい



遠藤 奏穂さん
大石田南小学校

私は、今絵を描いています。しめ切り前、一人で主人公の生き方を絵に描いています。描き終わったら、編集者の人に急いで届けます。私は、昔から絵が好きです。初めてマンガを買ったのは、小学校三年生の時です。そのときは、マンガを読むのが楽しくて、初めて「マンガ

家になりたい」という夢をもちました。今では、女の子や男の子などのイラストを描いています。友達のを見て、「自分にはマンガ家にはなれないのかなあ」とか「本当になつていいのかなあ」と思っています。でも、私はやっぱり好きなことには本気で何事にもがんばりたいです。私のマンガを見た人が、マンガを好きになってくれるようにしたいです。この思いは、一生変わらないうちと思っています。だから、これからみんなに喜ばれるマンガを描けるように、絵を描くときには、色づかいや描き方などに気を付けて、がんばりたいと思います。

★大好きな車に携わりたい



齋藤 琉斗さん
大石田南小学校

ぼくは、車を作る仕事をしながら、自分の好きな車を買います。そして、休みの日にはドライブに行つて、いつかは日本一周してみたいです。小さいころから車に興味をもって、外に出てオープンカーやス

ポーツカーなど、好きな車を見つけると気分が上がります。また、ミニカーなど車を集めるのが楽しく感じて、小さい頃はよく集めていました。車の中でも、特にお気に入りの車が、外車の「ランボルギーニ」という車です。その車は日本の車と違って、ドアが上に開くのでとてもかっこいいです。一度は乗ってみたいです。夢を実現するために、大好きな車に携わって働きたい、誰よりも努力して、大好きな車を買いたいです。

町民税申告相談のお知らせ

○申告相談のご案内について

申告が必要と思われる世帯へ、相談の日時等を記載した封筒を送付しました。封筒が届かない場合や、指定の相談日に都合がつかない場合は、下記までご連絡ください。

税務署から案内があった方は、税務署等で申告して下さるようお願いします。

○申告相談の日程について

相談日	曜日	対象地区	相談日	曜日	対象地区
2月 4日	月	下宿・八幡町	2月26日	火	豊田
5日	火	川端・庚申町	27日	水	坂ノ上・駒籠
6日	水	今宿・本町	28日	木	駒籠
7日	木	東町	3月 1日	金	鷹巣1・横町
8日	金	里・二丁目	4日	月	上ノ原
12日	火	新町・海谷	5日	火	佐田町・南通
13日	水	海谷	6日	水	来迎寺
14日	木	田沢下・愛宕町	7日	木	次年子・鷹巣2
15日	金	岩ヶ袋	8日	金	川前・曙町
18日	月	岩ヶ袋・小菅	11日	月	栄町・新山寺
19日	火	四日町	12日	火	黒滝・田沢上
20日	水	鷹巣3	13日	水	仲通・桂木町
21日	木	上宿・白鷺	14日	木	大浦
22日	金	井出・緑町	15日	金	予備日
25日	月	朝日町・豊田			

○相談時間 午前9時～午後4時30分

※世帯ごとに来庁時間を指定しています。送付した案内をご覧ください。
都合がつかない方については、個別に対応いたしますので、下記までお問合せください。

○相談会場 役場3階 大会議室

申告手続きには

マイナンバーの記載 + 本人確認書類の提示又は写しの添付
が必要です。マイナンバーカードや通知カードを必ず持参してください。

■町民税務課 税務グループ ☎35-2111 (内線125・126)

数え 100歳! 長寿祝う

新年を迎え、数え100歳となった方に、町から賀詞と祝い金10万円が贈られました。今年めでたく数え100歳になったのは大正9年生まれの高橋ハルエさん(ソレ大石田・転居前:小菅)、海藤善四郎さん(大浦)、木村ハルさん(黒滝)、横山秀策さん(里)、工藤スズエさん(海谷)の5名です。たいへんおめでとうございます。

このうち4名の方には1月15日(火)に庄司町長から賀詞が手渡されました。



高橋ハルエさん
(ソレ大石田・転居前・小菅)

何でも食べ、子どもたちの名前もちゃんと書けます。



海藤善四郎さん
(大浦)

天気がいい日の散歩と、毎日の晩酌は欠かしません。



木村ハルさん
(黒滝)

お風呂上がりの乾布摩擦が健康の秘けつです。



横山秀策さん
(里)

食べるものに気を付け、家の周りの雪かきもされます。

一人暮らし高齢者に手作り年賀状



町内3保育園の園児が町内の75歳以上の一人暮らし高齢者に手作りの年賀状を送りました。これは、町交通安全推進協議会が高齢者の交通安全と健康を呼びかけるため毎年実施しているものです。

大石田保育園では12月12日(水)に5歳児12名が、今年の干支「亥」とだるまの芋版を押してシールなどで飾り、手書きで「げんきでね」と書き添えた年賀状を3枚ずつ作りました。交通事故にあわず元気で明るく過ごせますようにと心をこめて作った年賀状は、約120名の高齢者に届けられました。

齋藤元希さん(パラ水泳・豊田出身) 今年の活躍を報告



アジアパラ大会で獲得したメダルを手にする齋藤さん。



元希さん(左)と父・周治さん(右)

東京パラリンピック出場を目指す齋藤元希さん(筑波技術大・豊田出身)が1月4日(金)に役場町長室を訪れて昨年の成績を報告し、今年の抱負を語りました。

昨年を振り返って「これ以上人生が変わることはないと思った一年」と話す齋藤さん。昨年3月、初めて出場したパラ水泳春季記録会で8月のパンパシフィックパラ水泳選手権出場の切符をつかむと、この大会でも好成績を上げて10月にはアジアパラ大会に出場し、銅メダル3つを獲得しています。

今年7月にマレーシアで開かれる世界選手権の代表選考会となる3月の記録会に向けては「派遣標準記録は世界8位のタイムが設定されていて、これが切れただけではメダルはとれない。より高い目標のために頑張りたい」と話し、さらなる活躍を誓いました。

その3 認知症の方への接し方

認知症になっても、その人らしさや感情がなくなっている訳ではありません。接し方次第で認知症の症状を和らげることもできます。

ポイント① 気持ちに寄り添いプライドを傷つけない

一見理解できないような行動にも本人なりの理由があります。頭ごなしに否定したり怒ったりすると、本人の自尊心（プライド）を傷つけてしまい、その出来事自体は忘れても嫌な思いをしたという感情だけは残ってしまいます。

本人の気持ちを理解するよう心がけ、その気持ちに寄り添った対応が大切です。



ポイント② 本人のペースに合わせる

認知症になってもゆっくりであればできることも多いので、本人の様子をよく見て、焦らせたり急がせたりしないようにしましょう。また、一度にたくさんのことを言うと認知症の方を混乱させてしまいます。ゆっくりと簡単に、分かりやすく伝えることを心がけましょう。

ポイント③ 笑顔でにこやかに接する

理解はできていなくても表情や感情は伝わります。笑顔で接することで認知症の方も安心できます。多少困った行動をとってもなるべく笑顔で接するよう心がけましょう。



～認知症になっても住み慣れた地域で暮らせるように～

正しく知りたい！認知症のこと

その1 認知症ってどんな病気？

認知症は、脳の細胞が死んでしまったり働きが悪くなったりすることで、日々の生活に支障が出てくる状態のことをいいます。認知症は誰にでも起こり得る「脳の病気」なのです。

▼「認知症」と「老化による物忘れ」との違い

認知症	物忘れの自覚がない	ご飯を食べたことなど体験そのものを忘れる	判断力が低下する ん、どうしよう！	時間や場所、人との関係性が分からない はて？ どちらさんかな？
老化による物忘れ	物忘れの自覚はある	ご飯のメニューなど体験の一部を忘れる	判断力の低下は見られない ガスを消し忘れてた！ 消さなきゃ！	時間や場所、人との関係などは分かる えーと？ あなたは隣の…
	何を探していたかしら？	お風呂、何食べたっけ？		

その2 認知症かな？と感じたら

認知症の原因によっては、早期に発見して適切な対応をとることで治療や進行を抑えることが可能です。認知症のサインに気づいたら早急に「物忘れ外来」や「認知症外来」を行っている専門医に相談しましょう。もし、本人を連れて行くのが難しい場合は、まずは家族の方だけでも相談してみましょう。

早期発見・早期診断・早期治療



介護予防の取り組みについて

元気な高齢者を増やすための取り組みについて紹介します。

いきいき百歳体操



いきいき百歳体操は寝たきり高齢者を減らすと考案されたもので、どなたでも簡単にできる体操です。保健センターでも定期的に開催していますので日頃の運動不足解消や地域での仲間づくりに、ぜひご活用ください。

虹カフェ



閉じこもりを予防し、元気な方を増やすためのカフェを開設しています。年齢・男女問わず、出入り自由ですので、どなたでも気軽におこしください。また、健康や介護などに関する相談コーナーを設けていますので、お気軽にご相談ください。

保健センターで行う「いきいき百歳体操」と「虹カフェ」の開催日はお知らせ版でご案内していますのでご確認ください。

【介護予防や認知症に関するお問い合わせ先】

- 役場保健福祉課福祉グループ 介護保険担当 Tel 35-2111 (内線132)
- 大石田町地域包括支援センター Tel 36-1520



台湾の高校生がそば打ちを体験

台 湾の員林高級農工職業学校の生徒34人が、12月19日（水）にあつたまりランド深堀でそば打ちを体験しました。

生徒らは日本の文化に触れる教育旅行に訪れていて、そば打ちはその一環として行われたもの。大石田そば道楽の会（阿部栄会長）のメンバーが言葉が通じないなか、通訳を介さず身振り手振りで一つ一つの工程をていねいに指導しました。台湾では麺を手打ちすることがほとんどないそうですが、生徒らは熱心に取り組み、初めて食べる自分で打った日本のそばの味を楽しんでいました。

そば打ちと「にぎりばつと」づくり

そ ばをテーマに町おこしに取り組む大石田にぎりばつと部（高橋陽介部長）が主催する「大石田そばシリーズ」のそば打ち・にぎりばつと体験が12月15日（土）にあつたまりランド深堀で行われました。

大石田そばシリーズは、参加者がそばの種まきや刈り取り体験など年間を通して大石田のそばを楽しむイベントの最終回で、町内外からの参加者約60名が大石田そば道楽の会（阿部栄会長）のメンバーに指導を受けながらそば打ちを体験しました。その後、そばがきを一口大にぎって茹でる「にぎりばつと」作りも体験し、参加者らは自分で作ったそばをおいしそうに味わっていました。



おせちで明るく元気な正月を

食 生活改善推進員連絡協議会（長沢依子会長）のメンバーによる、おせち料理作りが12月28日（金）に虹のプラザ調理室で行われました。これは町内の高齢者に、地元の食材を使用した手作りのおせち料理を食べてもらい、元気で明るい正月となるよう毎年実施しているものです。

献立は昆布巻きにしんや黒豆や栗きんとんなど7品で、メンバーの畑で採れた食材も使用し自宅などで3日前から手作りしたおせち料理が色鮮やかに盛り付けられました。配送には社会福祉協議会の配達ボランティアが協力し、おせち料理約80個が一人暮らしなどの高齢者の元へ届けられました。



花アレンジで華やかなお正月

お 正月用のフラワーアレンジメントでよい新年を迎えてもらおうと、きらめき女性セミナー「モダンな正月花アレンジ」教室が12月27日（木）に虹のプラザ中会議室で開かれ、町内の女性20人が華やかなフラワーアレンジづくりを楽しみました。参加者は講師の伊藤絹枝さん（下宿）の指導を受けて、竹や南天、葉牡丹に加えてバラなどの花を刺して、縦の線を強調したスタイリッシュな作品を作りました。伊藤さんは「あまり詰め込まず、すっきりと見せるのがコツです。華やかなお花を飾って気持ちよい新年を迎えてもらいたい」と話していました。



リズムダンス全国大会で入賞

大 石田小学校6年生児童が「全国小中学校リズムダンスふれあいコンクール」で上位に入賞しました。このコンクールは、体育の授業で行われるリズムダンスをクラス単位で発表するものです。

大石田小学校6年生チームはビデオ審査による予選を通過して、12月26日（水）に東京都で開かれた全国大会の小中学校規定曲部門に2年連続で出場しました。同部門には全国の12チームが出場するなか、大小チームは組体操の要素を取り入れたダイナミックで息の合ったダンスを披露して4位に入賞しました。



サンタが家にやってきた

ク リスマスイブの12月24日（月）に福祉ボランティア「いこいの会」（森昇一会長）のメンバーによる一人暮らし高齢者へのクリスマスプレゼント配布が行われました。会では、一人暮らしの方にもクリスマス気分を味わってもらおうと毎年この時期に手作りの贈り物をしていて、今年は県産材でマグネットボードを手作りし、中に詰めたお菓子とともに配りました。

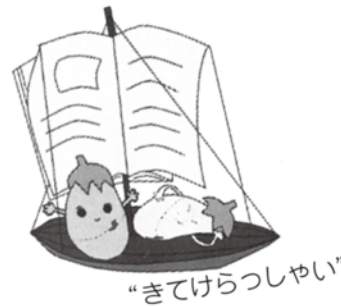
メンバーはサンタクロース姿に扮して雪が舞う中、町内の約60軒をまわり「元気でね」などと声をかけながらプレゼントを手渡しました。受け取った方はサンタクロースの訪問に顔をほころばせて「いつもありがとう」と手作りの贈り物を喜んでいました。



まちとしよ

～大石田町立図書館 information～

大石田町町民交流センター「虹のプラザ」内 ☎ 35-3877
公式HP <http://niji.town.oishida.yamagata.jp/library/>



- 開館時間／午前9時～午後7時（日曜日・祝日は午前9時～午後5時）
- 休館日／毎週木曜日・特別整理期間・年末年始《2月の休館日》7日（休）・14日（休）・21日（休）・28日（休）

行事・展示のおしらせ

日時・場所	内 容
2月の展示	ウィンタースポーツ展示、バレンタイン・スイーツ男子展示、節分関連展示、新美南吉関連展示
2月2日（土） 10:30～11:00 おはなしコーナー	司書によるおはなし会 毎月第1土曜日の30分間は、図書館でおはなしを楽しみませんか？お子さんも親御さんも気軽にどうぞ♪
2月19日（火） 10:00～11:30 虹のプラザ 2階小会議室1	読書会『百人一首』を読む ○申 込 前日まで ☎ 35-3877へ ○テキスト「百人一首」の本をご持参ください。 これから購入される方は「角川ソフィア文庫ピギナーズクラシックス『百人一首』」をご用意ください。

え！あの本も読めるの？

図書館Q&A

〈Q. 探している本が町の図書館にないときは、どうしたらいいですか？〉

A. お探しの本が大石田町立図書館にない場合でも、カウンターのリクエスト用紙に記入していただくか、職員にお尋ねください。他の図書館から借りるなどしてご用意しますので、気軽にご相談ください。
※本によって取り寄せに数日から数週間の時間をいただきます。

あなたに役立つサービス紹介

調査相談サービス	図書館資料の提供だけでなく調査、研究のための情報をお探しします。
子育て応援サービス	隣接する子育て支援センター付近の棚では、育児、妊娠・出産、病気など、子育てに関する資料や情報を提供しています。
医療・健康情報サービス	健康づくりや予防法、病気や薬、医療などに関する資料を提供しています。

今月は、どの本を読む？

一新着図書からピックアップしてご紹介します



『雪かきで地域が育つ』
(上村 靖司ほか編著、コモンズ刊)

過疎化・高齢化が進む中で「雪問題を通して地域が育った」15の事例を解説。将来の雪国に向けての課題も整理してくれる一冊。



公式HPから新着図書が見られます

『カルピスをつくった男 三島海雲』
(山川 徹著、小学館刊)

行商人の三島海雲は、遊牧の地モンゴルで未知なる乳製品に出会った。誕生から100年、日本初の乳酸菌飲料カルピスの産みの親の生涯を辿る。著者は山形県生まれ。

『草々不』
(朝井 まかて著、講談社刊)

武家の身分とときたりに縛られた家、仇討ち、就活、婿入り、剣術、罪と罰。切なくも可らしい人生の諸相を紡いだ、時代小説短編集。



『チョコちゃん』
(椰月 美智子作、そうえん社刊)

小学校に入学したばかりのチョコちゃんは、想像力ゆたかな女の子。可愛らしい絵とともにチョコちゃんの想像の世界を味わえる一冊。



ニュース 玉手箱



決意新たに新春書初め

新 学期のスタートとなる1月7日（月）に大石田中学校で恒例の書初めが行われました。書初めは井上祥子さん（佐田町）が講師となって行われ、はじめに井上さんと、井上さんの書道教室に通う生徒による書道パフォーマンスが行われ、生徒らが今年の干支や生徒会のスローガンを、井上さんが「時場礼」の字を大きな紙に力強く書いて披露しました。

書初めの課題は1年生が「限界に挑む」、2・3年生が「確かな成長」で、井上さんがそれぞれの文字の個性を大切にしながらのびのびと書いた字がよい作品になる、などと指導しながら会場を回り、生徒らは最後の1字まで集中して課題の言葉に取り組みました。



活動地域について地図で説明する村岡さん(右)



海外青年協力隊としてケニアへ

国 際協力機構の青年海外協力隊として1月から2年間ケニアに派遣される村岡智子さん（四日町）が12月19日（水）に役場町長室を訪れて庄司町長から激励を受け、現地での活動について説明しました。

発達障害の子どものための施設で働いていた村岡さんは、現地でストリートチルドレンや補導・保護された子どもたちを一時的に預かる施設で活動されます。村岡さんは「保護される子どもたちの中には、障害を持った子どもが少なからずいるはず」として、「経験を活かして子どもたちの成長を支えたい」と意気込みを語りました。

小正月行事だんごさしに挑戦

小 正月の伝統行事だんごさしが大石田保育園で1月8日（火）に行われました。この日は地域おこし協力隊の2名が保育園を訪れ、子どもたちと歌やゲームなどで遊んだあと、4歳児12名が協力隊の2人と一緒に団子をこねる作業から取り組みました。

子どもたちは保育園の入り口に設置されたミズキの枝に、自分たちでこねた赤、黄、緑、白の色とりどりの団子を次々と刺していき、子どもの手が届く低い枝がいっぱいになってしまうと、先生から抱え上げられて、だんご木全体を色鮮やかに飾り付けていました。





地域おこし協力隊コラム

大石田町エトペソラ

新年、あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。

皆さんの新年の幕開けはいかがでしたか？私たちは、実家に帰り家族との時間を過ごしました。南三陸町と米沢市の実家までは、大石田町から車で100キロ強の距離です。2～3時間の移動距離ですが、地域による天候の違いにあらためてびっくりしました。

宮城県に行く日。古川までは山形と同程度の雪でしたが、海沿いに近づくにつれて青空が広がっていました。滞在中も晴れやかな空の色を楽しみました。ただ、海から吹く風はとても冷たく、山形県よりも寒かったです。

南三陸町から米沢市に向かうと、空の色は大

石田町で見慣れた空模様（笑）。雪景色でしたが、天気予報に反し、正月期間は雪はさほど降らない穏やかな天候でした。

米沢市から大石田町に戻ると、雪の壁にびっくりしました。大石田町は連日雪だったんですね。同じ山形県で、同じ豪雪地帯と呼ばれる2地域でも違いがあるのかと驚きました。

地域津々浦々、食文化や生活の知恵に変化があるのは、こんな天候の違いからかもしれませんね。今年も東北を楽しむ一年にしていこうと思います！！

今月は香坂が
お届けしました！！



SNSで大石田町のエトペソラを発信中！！／ブログ・Facebook「大石田町エトペソラ」／instagram「foishida_et_pesora」

新春高齢者囲碁将棋大会



社会福祉協議会と町老人クラブ連合会が主催する第37回新春高齢者囲碁将棋大会が、1月11日（金）に虹のプラザ和室で開催されました。大会には12名が参加し、静かな会場に碁石や駒を打つ音が響き、白熱した戦いが繰り広げられました。結果は下記のとおりです。

- 【碁の部】第1位 横尾 祐一（下 宿）
 第2位 青木 孝次（庚申町）
 第3位 加賀昭太郎（南 通）
- 【将棋の部】第1位 森 昇一（田沢下）
 第2位 吉田 茂（東 町）
 第3位 海藤 典雄（駒 籠）

あったまりランド深堀新春行事



あったまりランド深堀で新春恒例の餅つきが1月2日（水）に行われました。餅つきは入浴に訪れたお客さんの目の前で行われ、うすと杵を使って餅をつき、つきたての餅は納豆餅にして振舞われました。餅つきに

はお客さんも参加し「よいしょ」の掛け声で元気よく杵を振り下ろしていました。この日は豊田地区の小学生による大黒舞と川前ギフチョウ神楽も披露され訪れた方は新年の伝統行事を楽しんでいました。

また、5日（土）には団子さしも行われ、入浴に訪れた方が今年一年の幸せを願いながら大きなミズキの木に団子を飾り付けていました。だんご木は4月上旬まで飾られる予定です。

2月の主な行事予定

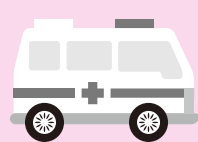
日	行事予定
4月	町県民税申告相談（～3月15日）／午前9時／役場大会議室 母子健康手帳交付／午後1時30分／役場相談室
9日	大石田町雪灯ろう街道 in 虹のプラザ／午前10時～午後2時／虹のプラザ周辺 大石田町雪灯ろう街道／午後5時点灯／町内一円
10日	雪道愛護デー／午前8時／町内一円
13日	心配ごと相談／午後1時30分～午後4時／社会福祉協議会 行政相談／午後1時30分～午後3時30分／虹のプラザ小会議室
14日	年金相談／午前10時～午後3時／役場101会議室 ※新庄年金事務所へ事前予約が必要です。 Tel. 0233-22-2050
18日	母子健康手帳交付／午後1時30分／役場相談室
22日	老人クラブ手づくり作品展（～23日まで）／虹のプラザ中会議室 かもしかクラブ修了式／午前9時30分／虹のプラザ多目的ホール 親と子のつどい／午前10時20分／虹のプラザ多目的ホール
24日	いきいき大石田福祉のつどい／午前9時／虹のプラザ多目的ホール
27日	農業委員会総会／午後2時／虹のプラザ中会議室

※都合により日程が変わる場合もありますので、事前にお問い合わせください。

死亡事故ゼロ1095日目

(1月15日現在)

大石田町の交通事故発生状況



(平成31年1月1日～1月15日)

- 発生件数 0件 (±0件)
- 負傷者数 0人 (±0人)
- 死亡者数 0人 (±0人)

※()は前年比

普段の自分の運転について改めて考える機会を持ち、今年一年、無事故無違反で過ごしましょう。

毎月1日は「大石田町民交通安全行動の日」

日曜・休日急患の当番医

2月 診療時間：午前8時30分～午後5時

日	当番医院名	電 話
3日	尾花沢市中央診療所	(23)2010
10日	尾花沢病院	(23)3637
11日	加藤クリニック	(22)9877
17日	後藤医院	(35)2034
24日	さかえクリニック	(53)8181

家族の健康管理に気をつけて

短歌

あなたの文芸欄

俳句

幾度も児等と登りし大高根山百名山となる平成の盡
 除雪機で雪片づけして昼寝するいつもありがとう愛しき夫よ
 森敷がこよなく愛でし月山も雪に覆はれ冬ごもりする
 家猫に好かれたらと思いつつ纏わりつく猫を少し離して
 月山の峰白くなり冬近し里の白きも数え日になり
 とろろかけご飯を食べて寝正月雪解けを待ち自然著つくる
 あらたまの年の元号に思ひ馳せ平成最後の賀状したたむ
 義経の主従がかつて「この坂」に休むが謂れの「こさか」の地名

海 伊 杜 佐 小 鈴 鈴 八
 藤 藤 々 玉 木 木 鐵
 忠 哲 匠 昭 春 多 智 キ
 男 夫 一 治 歌 喜 恵 ク
 智 美 喜 美 智 美 智 美

羽子板の飾り絵重き孫樂し
 新年や打ち出の小づち福呼びて
 節穴に春光見つけはしゃぐ餓鬼
 古希祝ふ息子に貰ふお年玉
 手作りの線を引きたる初日記
 去年今年さらの歳時記めくれけり
 恙なく八十路の春を迎へおり
 果しなき起筆問ふ旅去年今年

星 土 奔 木 柏 五 青 青
 川 屋 藤 村 倉 十 木 木
 紀 忠 静 満 ヤ 隆 ミ 宙
 一 子 子 喜 ス 隆 サ 翁
 郎 子 子 子 子 子 子 子

『おおいしだめとんとむがすあつたけど』

大石田町で語り継がれてきた昔話をシリーズで紹介します



鬼と豆

昔、昔あったけど。大石田のある所に、爺様と娘の二人暮らしの家があったけど。

或る時、爺様と娘が山の畑に豆まき行ったけど。一生懸命豆まきしていったら、地響をたてで、爺様と娘のいる畑の方に近づいてくる音だけ。

爺様と娘は何んだべーど、豆まきをやめて見ておったら、大きな鉄の棒をもっている化物のような鬼だけ。

爺様も、娘も、びっくりしていったら、鬼は、「爺様、爺様、爺様の娘良い娘になった俺に嫁にけろ。」といったけど。

爺様は、「鬼などに娘をけらんなえ。」といったら鬼は、「よし、けらんなえ、なら、この畑つぶしてやる。」といった。

それでも爺様や、娘に何にもしないで戻って行ったけど。爺様と娘は豆まき終って家に戻ったら、その夜に、又ドシン、ドシンと響がするので、昼間の鬼ではないかと思ってい

たら、家の前に止って、「爺様の家だなー。娘もらいにきた。」という鬼の声だけ。

爺様は、「けらんなえ。」といった。したら鬼は、「又もらいにくる。」といって戻って行ったけど。

明日の夕方又地響をたてで鬼がきたけど。「娘もらいにきた。」といったけど。

爺様は「けらんなえ。」といったら、鬼は、「この家、とばしてける。」といったけど。

爺様は又「けらんなえ。」といったら、鬼は家を飛ばそうとしたので娘は、

「鬼、鬼、明日俺らの爺様と豆食い競争して、勝ったら俺ら鬼に嫁に行く。負けだら、二度と大石田にきて悪い、どうだ鬼。」といったら、

鬼は、笑いながら「良かんべ、良かんべ、俺が爺様がら勝てば、嫁にくるなだな。」

「んだ、負ければ、大石田の地に二度ときてはいけない。約束だ。」といったら、鬼は、「よし、よし、明日嫁もらいにくるぞ。」といって戻っていったけど。

明日の夜になったら、やっぱり地響たてできて、「娘もらいきた。」といって家に入ってきたけど。

娘は、「去日約束した通り、豆食い競争で、爺様から勝てば俺ら嫁に行くのだ。」といって美しい着物着ておったけど。

「サア、それでは、このどんぶりに入った豆を一粒のこらず早く食った方が勝ちだ。」といって同じくらいの量を二ツのどんぶりに分けて、「これは鬼、これは爺様。」といって豆の入った、どんぶりを渡したけど。

鬼は喜んで、俺が勝つにきまっている。と思っておったけど。

そしたら娘は、「ヨーイドン」といったので鬼も、爺様も、豆をどんどん食い始めだけ。

ところが爺様のどんぶりの方には柔らかく煮た豆が入っており、鬼のどんぶりの方には、かたく火でえった豆が入っておったので、鬼はなかなか食べ方がすすまなかったけど。

鬼は美しく着かぎった、娘の方に気が取られているうちに、爺様の豆は無くなってしまうたけど。

そしたら娘は、「爺様の勝ち。」といった時、鬼はまだ、どんぶりの底に少し残っておったけど。

鬼はそれを見てがっかりしてしまい、二度と大石田には、姿を現すことできなくなったのだ。

それから鬼は、豆が一番きれいなようになったので、鬼を追い出す時に豆をまくのだ。

ドンピン

○出典 滝口 国也／編著

『北村山地方の民話(昔話編二)』
大石田町 永登 春男／語り

【町立図書館蔵書】



町の人口 平成31年1月1日現在

世帯数	2,351戸	(+8)
総人口	7,130人	(-2)
男	3,495人	(±0)
女	3,635人	(-2)
(12月中の異動)		
出生	5人	転入 18人
死亡	12人	転出 13人

※この人数は外国人も含めたものです。

楽がき帳

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

例年になくあわただしい年末年始を過ごしたためか、ついさつき新しい年が始まったと思ったり、新年の目標など考える暇もなく、はや一ヶ月が経とうとしています。年を取ると時が過ぎるのが早くなると言いますが、一ヶ月がもはや一瞬です。ときめきが多いと時間が過ぎるのがゆっくりに感じられるそうです。あと11ヶ月ですが、充実した一年にしたいと思います。(あ)